

「大石理事長 就任ご挨拶（2020年6月）」

このたび408回理事会（文書審議）におきまして、松山 彰 理事長の後任として理事長の大役を拝命いたしました（株）TLCの大石祐司です。微力ではありますが、各支部の皆様方と連携し、同時に選任された牧野 和之 副理事長（岳南建設株）と、送電業界のために精一杯努める所存でございます。どうぞよろしく願いいたします。

松山前理事長におかれましては 2013年7月より理事、副理事長、理事長と7年の長きに亘り当研究会の要職を歴任されました。

東日本大震災後、再エネ関連や地域間連系線工事が立ち上がり、また、増加する経年設備の更新など、受注状況も大きく変化するなかで、安全対策とともに担い手の確保や業界の認知度・魅力度向上を中心に、ラインマンの全国一斉休日の実現、PR動画によるリクルート活動支援、送電作業用フルハーネスの仕様決定など、着実な成果をもって当会をしっかりと導いていただきました。そのご見識とご指導に深く感謝を申し上げます。

今年度は全国の電力会社で送配電部門の法的分離が行われ、また頻発する自然災害に備えた設備強靱化など電力ネットワークに関する議論がますます活発化しています。当会としてもこれらの環境変化に的確に対処するため、前理事長の方針を引継ぎ、送電インフラを守る担い手の確保を重点として、これまで進めてきた安全活動、人材育成、魅力度発信を始め、働き方改革を踏まえた職場環境の改善、省人化や工期短縮を目指した新工法の研究、生産性を高めるICT技術の活用等々の諸課題に向き合い、次世代につないでいきたいと思っております。

特に安全面は送電業界の基盤ではありますが、ここ数年、死亡災害が連続しており、厳しい状況が続いています。新型コロナウイルス対策、熱中症対策など更なる配慮も必要となってきました。各支部の安全活動を中心に、基本ルールの遵守を皆で決意し、不安全状態を排除する取り組みを連携して進めていきましょう。

私たちの使命は、全国24万基の鉄塔、9万kmの送電線路巨長を対象に、系統増強や既設設備の更新工事とメンテナンス、また、自然災害に伴う緊急復旧作業等を通じて、電力の安定供給を下支えすることであり、会員一同その使命を全うするよう全力で取り組んで参ります。是非とも、経済産業省並びに関係省庁、各電力会社等、関係の皆様方のご指導、ご支援をよろしく願いいたします。

末筆ながら、皆様のご安全ご健康を心よりお祈り申し上げます。



**理事長 大石 祐司**

以 上